

松前志

正一冊五

			九	和
		一	一	書
		〇	六	門
七	六	三	一	
冊	架	函	號	類

庫	文	閣	內	
七		九		和
八		二		書
函		六		
三	七	一		
架	冊	號	類	

內閣文庫	
番號	和 9161
冊數	7 ( 4 )
函號	178 104



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

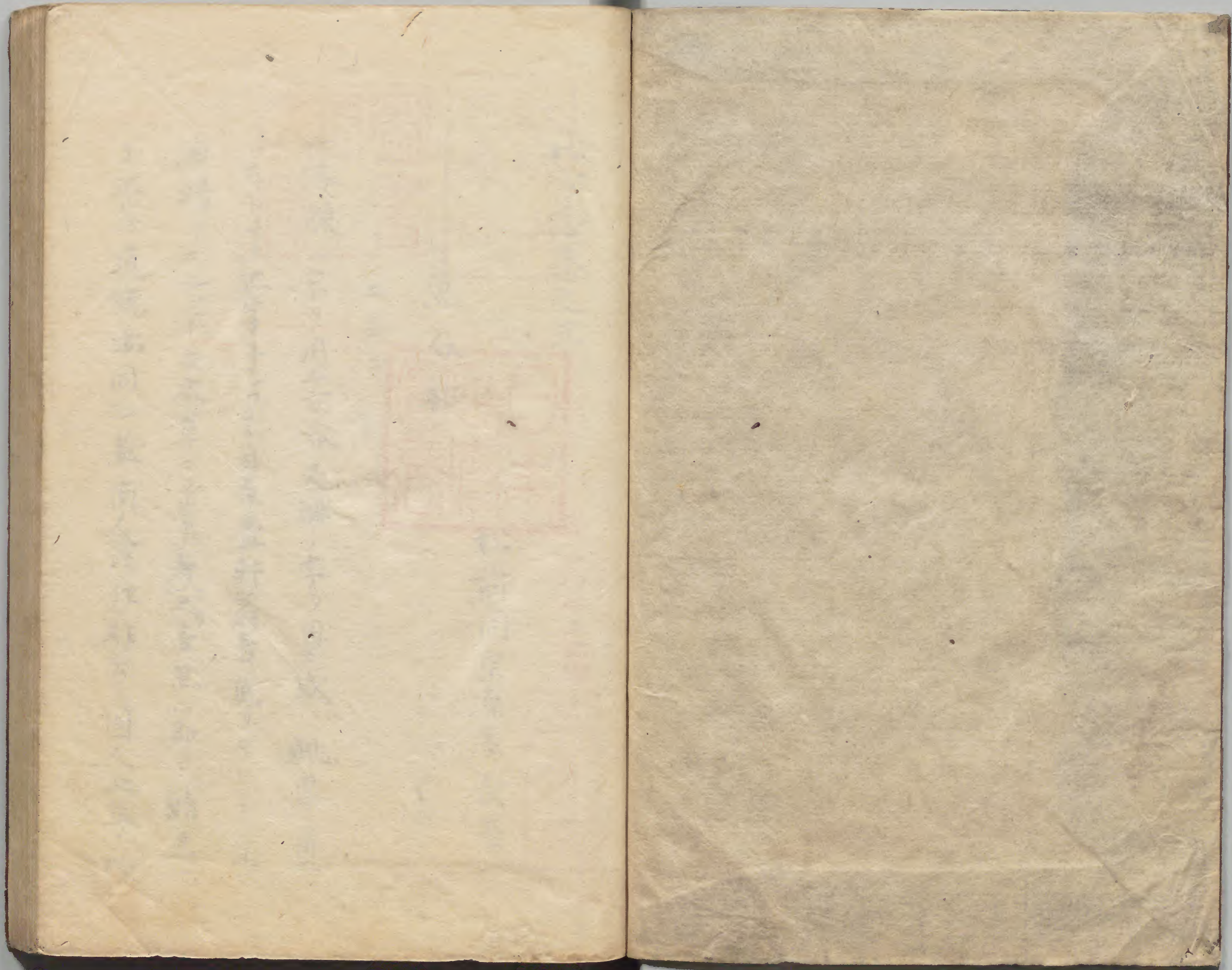
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

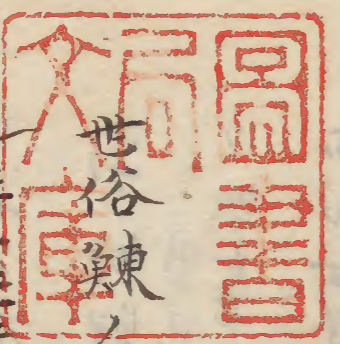








松前志卷之五  
教習省  
文庫印



魚ノ  
ニシ



丙一〇二五三號  
正齋藏  
松前同宗源廣長著

世俗鍊ノ字ヲ用ユ方俗又鯿ノ字ヲ用ヒ或ハ鯿字ヲ用ヒ  
正字トシカニ貝原益軒翁音魚ヲカトス直

海鱈ヲニシト云本草ニヨリテ考之青魚ハ即チ鱈魚ナ  
正字通説亦同シ蓋南人以作鱈云國人此魚ノ極



呂朧上ノ海産トス朝鮮人ノ青魚ト名ツクルモノ而即チ  
 是也日本西国ニテ此魚ヲ高麗 鯧ト云フモ彼地ノ産ナ  
 レハナリ元祿九年庚子夏五月西部ノヒガンシリト云ハ  
 島ニ朝鮮人漂着セシカ舟中此魚ノ鹽藏セシヲ積置ク  
 リ然レテ東醫宝鑑ニ青魚ハ別魚ナルヨシ見ヘタリ是  
 而如何ヲランヤ夷人コレヲヘロケト云フ形状如虎

ニシシ形状カシラヨリオイトニ  
 イケルニテ一尺ハカリ其色白銀  
 ニ異ナラス背通リ鷹ノ背色ナリ  
 死スレハ眼色紅ナリ





カツノコ

國俗ノ云數子は是ナリ又或ハ練糸ノ字ヲ用ユ白石公羽カ蝦夷  
志ニ呂覽ヲ引テ東海之鮑即是也ト云リ鮑ハ即チ其乾  
シタルヲ云元禄十四年始テ此物ヲ獻シタリ方俗コレヲ寄數  
子ト云寄或ハ撰ノ字ヲ用ユルハ上品ノ鮑ニテ今云寄數子ニ  
ハ非ス故ニ物ヲ二種トナシ獻品ニモ入レリ近ヨ方俗鹽藏  
セシチ奇種トセリ料理ニハコレヲ用ユヘシ

ニシヒラキ

即チ干乾練ニノ練楚割ナリ是亦元禄十四年始テ獻  
シタリ今云カトヒラキ是ナリ



ニシシニカキ

練ノ背肉ナリ室永三年始テ此物ヲ江戸ニ獻名ト其後皆  
タリ國人專ラコレヲ冬月ノ食物トス晚秋コレヲ水ニツケ  
蕪トシニシツケト名ツク方俗ノ云フカトヒモ人即此物  
ノ乾シタルヲ云ナリ



ニシレシラコ

飢トナシテ貧民常食ノ物トス其清品ヲ方俗天下シラ  
コト云フ是一ツ撰ニ乾シタルモノヲ云フナリ



即 千鯢魚或作鯢字ニ葦本ノ三才圖會ニ所載鯢別物  
 ナリ具原翁ハ鯢字ニ決スヘシト云リ順ノ和名抄ハ鯢ノ  
 字ヲ用ヒ鯢字ヲ俗トス又引食經一名ヲ年魚トス延喜式ニ  
 ハ鯢字ニ作り庭訓ニ夷鯢ト記セリ白石公羽亦コレニシク  
 カフ閩書或ハ過臘魚ヲサケトス又稻若水ノ本草別集ニ  
 過臘魚ヲ棘鬣魚ノ一名トス或云鯢ハ河豚ノ名ナリト  
 諸説紛々難決此魚松前近海東西夷地上産セサルトコト稀ノ



ナリ西部夷地イシカリ河海此魚取多シ東方コレヲエフト  
云フナエハ唯魚ト云コトナレトモ此魚ヲ魚中ノ真魚ト云フ  
意ニテカク呼ヘルナリ河海共ニ網ヲ以テコレヲトル小河ハシ  
ラト云モノニテ此魚ヲトルナリ圖見<sup>ナリ</sup>下萬治二年東部夷  
地シブサリ深紅ノ鯉魚ヲ出セルヨシ旧記ニ見ヘタリ疑ラ  
クハ鯉魚ナラシカ

カラサケ并ヒラキ

即チ鯉脂今云チ鯉<sup>ノ</sup>或枯鯉乾<sup>臘</sup>過魚ト云此物性却チ冬  
出テ兼テ瘡家モ用ユルトヨアリ故ニ夷狄寒中常食  
ノモノナリ名ツケテチナラト云フ兼好カ徒然草ニ四糸  
大納言隆親卿チ鯉ヲ供御ニイラセラレタルコト見  
タリ又鯉扱ト云モノアリ古俗ノ名称ナリ和名鈔ニ魚一條  
ヲスハヤリト訓シタリ又引本朝式楚割ノ字ヲ用ユ是  
獻品ニ入レリ此物古キモノナルニヤ東鑑ニ仇ニ木ニ郎盛ノ



網相副小刀於鮭楚是割以子息小童送進御宿中只今  
削之令食之處味頗懇切早可聞食歟云殊御自愛  
彼折敷被御誅御自笔白て子丑タル今十廿七モスハヤリノ  
ワリナク見ユルコトサシカナ

サケノシホビキモアラキ

即チ鮭鮓ニシテ國俗ノ云鹽引ナリ此物夷地ヨリ大船  
滿テ他國ニ運送スルコト夥シ是夷方第一ノ産物ナリ又  
阿良万岐鮭アリ是本苞首ノ名目ナルチ方俗ノ於鹽鮓  
ノ名トセルモノハ和名鈔引唐韻苞首裏魚肉也ト云  
ヨリオコレルナルシ叔我夷方鮭魚ノ夥シキコトハ海内第一  
ナレハ八月ヨリ十月未ニ至ルニテ東南公奥及ヨリ江戸ハ  
運送シ或ハ三越ノ地ヨリシテ京大坂ハモ出ルナリ其船ヲ



諸国ニテ<sup>アヅマ</sup>秋味ト云フ又我藩<sup>アヅマ</sup>鮭ヲ産タル河邊<sup>アヅマ</sup>漁夫ノ群居ル

トコロヲ古ヨリアジヤト云フ其漁夫ヲアエト云フ今白記考ル

ニ<sup>アヅマ</sup>秋網地ニ作レリ萬葉集ニ大宮ノ内ニテキコユアヒキストア

コトノフル海人ノ呼聲トヨメリ是アヒキハ網引ヲ云フス乃チ

網子<sup>アヅマ</sup>ニノ漢夫ヲ云故ニ味<sup>アヅマ</sup>屋モ網<sup>アヅマ</sup>ナルヘシ

サケノセワタ

是ハ鮭魚ノ背中ニアル紫色ノ腸ナリ醃トナシ養食ノ

上ニ食フテ胃腸ヲ開キ奇味アルモノトス延喜式ニ鮭

背腸ト出タル即チ是ナリ或ハ是ヲ三十ワタト訓ス



サケノシヲカラ弁鮓

是亦鮓魚ノ鮓アキトヲクキテ鮓サシメ鮓トス是東都獻上品

佳味、品ナリ又鮓鮓アリ延喜式ニ鮓箱ト出タリ方俗

又鮓頭ヲ羨味トス國俗ト云フ延喜式ニ鮓氷頭

ト記セリ倭名鈔ニ魚丁ニ作ル乃千引ニ爾雅魚枕謂之

丁ト郭璞注云枕在魚頭骨中形似篆書丁字者也

是即氷頭ナリ鮓鮓中此物ト鮓子ヲ加味セサレハ其

味羨ナラス



サケノスゴコ弁ユモリ

即チ鯉魚ノ鱗ナリ臨藏シテ食之方俗スシコト  
云フ順和名鈔ニ在禹錫食經ヲ引テ鯉其子似  
鱗赤光一名年魚春生年中ニ死故名之按ルニ此  
説正トスシ益軒翁曰鯉ノ鱗南天燭子ノ如シト即  
是ナリ春二月下旬ノコ口河中寸余ノ小魚群游ス此  
亦即鯉子ナリ此物馬療ニ用ユルコトアリ或云四五  
月ノコ口東部エトモ海邊長サ三四寸ナル小魚アリ



カト名ク是又甕子ナリト其實名ヲシラス又<sup>ハ</sup>士  
工藤長舊云東部トカ<sup>ナ</sup>領内ホロベツト云  
ヘル大河<sup>ナリ</sup>テ初老ノコナカ魚群游シテ河ニ滿ツ  
ト夷人網ヲ以テトル或ハ腊トシ冬月ノ糧ニ貯フ  
ト然ラハナカハ甕子ニアラサルヘシ下ニ見ヘタリ  
又牝甕ノ子其腹内ニ滿テルモノヲ鹽藏セシマ<sup>フ</sup>方  
俗コモリサケト云フ祝儀ニ用ルトコロアリ延喜式供  
御一申内子甕アリ是ナリ此物仙其屋<sup>ニ</sup>因冬月  
ノ獻品ニ入レリ彼地亦名産ナリ因俗子<sup>ハ</sup>龍ト  
カケルハ非ナリ



即千沙喫一名沙蒜又塗筍ト云生海參是ナリナクハ  
 固俗ノ称ナリ其功能乾ス物ニ勝レリ此物東亞地海  
 中悉クアリ又選ノ<sup>土</sup>肉コレナリト云ヘリ如何アラシヤ蝦  
 夷網ヲ以テコレヲトル夷地海産物中ノ上品ナリ故ニ其  
 直ヒモ亦甚貴シ又同種ニ赤海鼠アリ其色如朱シテ  
 疣スクナシ又北部夷地海中白海鼠アリイニク其真物ヲ  
 見ス然レ則海參ニ黑白赤ノ三種アラシカ此物中<sup>海</sup>



邊ニモ甚稀ナルヨシ但遼東ニ産スト云ヘリ華人（註）  
産ヲ以テ海内一トスルヨシナリ仙臺近海ノ産ハコレヲ吾ニ抗  
セシト聞ク一所謂肥皂參ノ類歟東方（コレ）ヲウケテ或  
人謂鼠此物ヲ食ハスト意フニ附會ノ説ナルヘシ

イリコ

陸軍曰海參  
ニ此詳ニ述ル

即チ海參或称海蛆延喜式救火海鼠ト出クハ海中又方  
俗ノ所謂海鼠（ウミネズミ）アリ尤別物ナリ五雜俎曰海參遼東海  
濱ニ有之一名海男子其状如男子勢其性温補足以敵天  
參故曰海參此物生トルトキ（ウラ）葉ヲ以テ蓋（カ）之伸テ節ノコ  
トシ故熬海鼠者ルトキ稻苜蓿一東ヲ以テ蓋之則妙此物  
蓋シ淋疾ヲ治スル切アリ新汲水ニヒタスコト五七日コレヲ割テ  
沙ヲ去リ石蜜ヲ加エ又火ニテ煎服ユコ（ス）誠（ス）其



シルシ最スミヤカナリ

コノワケ

即チ海鼠腸又延喜式ニ出タリ或沙喫腸ト云フ醢  
トナシテ都鄙共ニ貴品ト称ス酒徒亦殊ニ貴翫不生  
却テ鹽腌ノ物ニ及ハスト云ヘ其功能ハ古ルヘカラズ眞及仙  
臺南部辺ニテモ貴産トス蝦夷此物ヲ鹽藏スルコト好  
クス唯其生ナルヲ食フノコト俗吏士モ亦是ヲ製スルコトナ  
サズ惜ムヘキコトナリ香川太冲云病人決勿食此物固甚  
哉夕トハ養生家鶏肉ヲ食フテ其卵ヲ石以食ノ理也



ニヤ其ト目既ニ彼子カ辨正ニ詳ナラスヤ此物ノ腸亦其病  
症ニソテ何ノ不可初之有ニ是管見ノ所為正論ニラ  
ス藥選申人參茶條ノ辨論モ亦通論ニアルハカラス且ソ其  
書中往々英雄欺人ノ先言ニ擬スルノ辨論アリ學者察  
セスハアルハカラス藩醫吉田養伯恒省曰海參ニ腸アリ子  
アリ腸子形味自カラ別ニメ其不ハ春ノ末ヨリ夏ニ至テ多  
ク是時鹽藏スルモ味至羨ナリ久クシク貯ルニ堪ヘス  
腸ハ秋ノ末ヨリ冬ニ至テ満テ亦貯ルニ可ナリ但腸ハ味  
清羨子ハ純厚ナリト今拙ニ腸ハ暑気ヲウケレハ心ス  
用ユルニ堪ヘス余<sup>余</sup>イマタ其子ノ真物ヲモス世ニ其子トス  
ルモノ疑クハ暑者寒ニ其形色ヲ異ニスルモノカ



アハビ

即チ鰺魚一名石決明松前近邊ノモノ甚小也東部  
シオクビ西部イウナイ辺ヲ最上トス東部五箇村ニ里余ノ  
海辺ヲ其次トス余地ハ水鰺トテ風味ヤ、オトレリ此  
國此モノ多キコト他國ニ比ナシ華人甚コレヲ好メ海參  
鰺魚俱ニ長崎ヨリ異國ニ渡ルコト夥シ故ニ本々藩産ヲ  
勝レタリトス此物クロホシシラホシノニ品アリ又クシカイアリ  
見ニテ下ニウキテシラホシヲ貴品トス按スルニ此物兵糧トナサ



ハ武用ノ極品此上アルヘカラス詳ナルハ松前武備考著  
セリ蓋シ東部夷地ニイヨリ東北ニ此物ナシ亦西部リイ  
シリヨリ北海ニモナシト云リ極北地海水氷リチカ故  
ナルヘシ五雜俎ニ北地珍ニ鱧魚ニ每枚三錢漢王莽唱鱧魚  
憑ル不復睡又南齊時有遺褚彦回ニ枚者每枚直  
數十錢則古人已重之矣鱧音撲入聲今人讀作鮑  
非也云々夷方コレチアイト云リ真珠亦殼中ニアリト云  
ヘ凡土俗コレチ採<sup>テ</sup>利潤アレトチシラス凡真珠ハ藥中ノ  
貴品ナリ故其直モ亦此物ニ次クモ今シ民ヲ司トシ人  
心正アルヘキコトナリ



クシカイ

即<sup>+</sup>鮫鮓延喜式ニ供御ニ横串鮓アリ是年此物昔獻  
品ニ入レリ和名鈔<sup>ニ</sup>鮓ヲサント訓シ又ヨキヲサント訓ス又  
引<sup>ニ</sup>唐韻<sup>ニ</sup>以<sup>レ</sup>竹貫<sup>ル</sup>魚是ナリ

マス

即鱒魚ナリ東<sup>レ</sup>地東西海中ニ多シ亦河ニモ洑リテ其  
夥シキコト鮭魚<sup>ニ</sup>亞ケリ此魚四五月牡丹白躑躅<sup>也</sup><sub>所<sup>ニ</sup>目<sup>ニ</sup>實<sup>ニ</sup></sub>  
ナトノ閑花スルコト殊<sup>ニ</sup>多シ或鮓トナシ商船ニ滿テ他國ノ  
交易トセリ東<sup>レ</sup>方コレヲエシヤト云又海中口里鱒アリコレハ  
小鱒ニシテ寒中ノ珍品ナリ此物東部福島或ハシリサワヘ  
辺海中ニ多シコレ亦鮓ヲ以テトルヲナク口トハ方俗ノ所<sup>レ</sup>呼  
ナリ又河海兩鱒ノ一種アリ大ナルモノ三尺有余ナルアリ其



魚章雨ノアケルカ如シ故ニ方俗アマスト云風味真鱒  
ニ微シク劣レリ

ウナヤ

方俗是ヲウナヤト云鱒ト鱒トノ間ノ魚ナリ故ニ形状モ亦相イヌ  
鱒ニヒトシ其色白銀ノトク其肉厚シテ深紅ニシヨリ銀鱒ノコトナリ  
ニツクナリ味ニ羨ナルト云ヘカラス本名未レ詳此魚齒ナシ秋鱒魚  
ニ交リテ出ツ余カ采邑覃部ノ海ニモアリ然レモ甚稀ナリ西部夷地  
イシカリ辺ニ多アルモナリ東部ウラカハシブサリ辺ノ夷人ハ其  
名ヲナライト云ヘリ東部シツ夷人此魚ヲケナウモ云



テフサメ

是尋常ノ鯨ニアラス此魚西部東地テシテユウベツ。辺  
ニワキテ多シ方俗コレヲ蝶鯨ト云菊花蝶形頭然ク當  
今ノ士夫帯ノ飾トシ其鞘モ用ユ羨觀ニシテ又武用トス  
ルニ足レリ東方是ヲカリト云此物享保二年有リ台命而  
呈上セシナリ東人此魚胞ヲ以テ鯨膠トス其妙甚シ又種  
シモクサメト云アリ大和本草ニカセバウト云ヘルモノ即チコレナリ  
形状如丸



又キナホウサメアリコレ即チ洋龜ナリ夷中ノ云キナラ即  
チ此也本<sup>キ</sup>ヲケワリイナヲト名ケ其魚ノ腹中ニ入ラ放セハ再生  
スルヨシ信用シカタル尤妄説ナルヘシ直海カ説ニ椶魚ノ  
字ヲウキトス他國尋常ノ鮫ノ如キハ素ヨリ種類多  
クアリ

フリ

即チ鰺魚ナリ或ハ海鱧ノ字ヲ用ユ冬月東部オヤスレテ  
クビノ辺殊ニ多シ甚養味ナリ夷方コレヲウシテホウチネ云  
方俗此魚ノ若キモノヲアヲト云七八月ノコトアリ他國コレト云  
ナト云ヒ或ハイナタト云ヒヤズト云ヒ目白ト云ヒサラシト云フ  
又大サバアリ五六月ノコト長サ一尺ハカリアリ此魚ノ老若ヨ  
リテカリ其名異ナリ又其地方ヨリテ其稱異ナリ目原~~ニ~~  
登軒云松前蝦夷ノブリハ人ヲコロスト凡物多ク食ハ人殺スニイタ



ルエト必セリ何ソ郷ノミナラシヤ固亦甚哉此魚ア頭ヲ相  
トナシテ馬ノ内羅ヲ治スルニキハメテ妙也武夫シラスハアルヘ  
カラス

カツテ

舟官曰今果也  
唐入海之魚也

即ノ十鰓魚或作ル鰓魚又作ル松魚一名肥満魚延喜式在萬葉  
集ニ鰓魚トカケリ魚好カ徒然草ニ頃日鰓倉ノ海ヨリカツ  
オト云フ魚出テ人ニ食セルヨシ珍ラシケニカキタルハ誤リナレ但本  
カ南留別志ニカツウテハ供御ニ用ユルモノナリ延喜式ニ見ユ魚  
好モ古書ハ見サルニヤト云ヘリ松前海中稀アリ是漁人ノ此  
魚ヲ捕ルノ術ニ拙キカ故ナラシカレ凡去年庚子ノ夏秋  
ノ間ニ東部ヘケレテアリカハ辺ノ海中ヨリ多ク出タルヨシテ聞ケ



リ貝原カ此魚日本南海ニ産シテ北海ニシト云ルハ誤ナリ奥  
及南部ニモ亦多クアリトキケリ

カスベ

方言ノ稱ナリコレ即チカスエイノ異言ナラン夷人コレヲカ  
ト云フエイハ海鵞魚ナリ又鰭ノ字ヲ用ユ然レモ此物同類異  
形之其證尾ノ尖ニ刺ナシ鰭ヲ東方ニアイスセト云ハカラカハ  
亦別物之貝原篤信カ説ニ海鵞魚尾頭ニ毒アリ人コレ触  
レテ痛ミタヘカタキニ樟腦ヲタキフスヘテ甚奇効アリト云ハ  
海人シラスハアルヘカラス此物或ハ燕魚ニ作ル



クジラ

即チ鯨本名海鯨或ハ鯨ノ字ヲ用テ或又海鯨ト云フ古  
ハコレヲイサナト呼ヘルヨレ文字ニ勇<sup>イサナ</sup>魚トカケリ萬葉集ニ  
伊佐奈コレナリ是昔ハ箭ヲ射分テ捕リタル名ニ在云  
フ或カチ以テ此魚ヲトリタルハ古ニハナキコトナリ東人ハ今  
モ毒箭ヲ放チ是ヲトルク魚ヲナト云フ古ヨリノナラハ  
シナリ松前方俗工民モ海鯨ヲウミナト云ヒ河鯨ヲカハト  
云フ桂南嶺ト云フモノ、説ニ尾而横須賀辺ニテ川



魚ヲミツナト云ヨシ是都鄙ニ古言ノ残レナリ松前福  
山近海ニ大鯨ナシ長ク拾丈許ヲ限リトス然レモ此物  
大小長短美別多キ魚ニシテ海内ヲ流通スレハ決定カ  
クシ元禄年中日本肥前大村ノ鯨ヲ帝タル鯨松前ニ  
漂着セシフアリ東部夷地キイタツブ辺ヨリ東北ノ  
夷人ハ小舟ヲ連子毒箭或ハ又ナシトテ鯨トナシテ射ト  
ル誠ニ是夷地境内ハ海内中ノ大海國タルハ夷人ニ教テ肥  
前ナントノ如ク大漁獵ヲ興シタラシハ永ク國家ノ大  
土産物タルヘキナリ夷人鯨ヲフシト云ヘリ此魚漂着セ  
シ處三年ヲ過サレハ鯨魚其海岸ニ群游スルコトナシ  
故ニ海夫忌テエヒスト稀ス故ニ其地ニヨツテハ鯨獵ヲ第  
一トナサシメタキコトナラスヤ



オキナ

夷方大鯨ヲオキナト号シ神ノコトク畏レ山宗ワナリ文選  
介鯨アリ是半華本ノ三才圖會ニ雀豹力古今注引  
テ云鯨也者長千里ト是即チオキナニ和漢三才圖會  
ニ雀豹力説甚ク甚ト是却テ雀見ノ説之尋常ノ海  
鱈ニ數十倍アルヲ紅毛人ワルスト云ヨシ中華ニコレヲ海  
公羽ト云ヘリサレハオキナハ即チ海翁ノ意ニテ方俗ノ名  
ケタルナルヘシ夷人實ハコレヲヤワインケト云ヘ此物夷



地東北海洋中ニアリ此魚海上ニ浮ハントセハ二三日巳前  
ヨリ海水自然トクロミタリ大洋甬然タリ其時夷人  
舟ヲカリシ戸ヲサシテ畏レツクシムコト甚シ其形ヲ顯ストキ  
忽然トメ大山ノ突出セルカ如ク目ヲ經テ退カス時々風波ノ動搖  
スルコト夥シ其大ナルハ數十里ニワタリ海水コレカ為ニ溢  
ハカトシト云ヘリ莊子ニ北溟ニ有リ魚其名為鯢ト鯢之  
大石レ知其幾千里ニト然則大洋海中如何ナル海獸大  
魚アラシモハカリカク異物志雄者為リ鯨雌者為リ鯢  
其大者亦然或死ニ於沙上得レ之者皆無シ自俗ニ其目レ  
為ニ明珠蓋其死也<sup>有</sup>異星應之コレヲ以テ其奇魚  
異物タルコトヲシルヘシ五雜中神異經ノ說アリ見ルヘシ  
元祿五年壬申夏五月西部シマコキノ蝦夷オキナノ  
牙ヲ領ノ主ヘ口玉セシコト旧記見ヘリ惜哉其形ヲ記セ  
サルヲ



カニ

此魚大洋中ニアリ東方コレヲフシト云カニト云方俗ノ稱セルノ白  
石コレヲ劍魚トス東部シブサリ辺ノ蝦夷ハコレヲシイタルト云  
此魚群リテ生鯨ヲ食コト禽獸ニハ蝨ノ生スルカトト云又舟ヲ  
クヒキルト云ヘリ鱈<sup>ヒレ</sup>アリテ逆立リ大鯨モコレカニ為<sup>ニ</sup>死シテ海濱ニ  
漂著ス方俗コレヲカニキリシ鯨ト云其大ナルハ丈ニナカシ按ルニ  
是即<sup>シマホコ</sup>千鵠尾ナルニ今魚虎ヲシマホコト訓スルハ非ナリ也馬  
信云ヘリ或云シマホコハ龍頭魚ナリト未詳或云此魚小魚ナ



リト疑ハ誤リナラン夷地東部ニシテ鯨夷カニ魚ノ牙ナ  
リトテ所持セルヲ予未ダ見ル小物ニアラザルナリ

タテ

國俗鱈ノ字ヲ用ユ一名雪鱈其腸ヲ雲腸ト云雲洞中  
出ルノ形ニ象ルト云ヘリ画法モ雲洞皴ノ筆法アリコレ似タリ  
此魚東西夷地海中甚々多シ腊トナシタルヲヒタフト云ヘリ西  
部夷地リイシリノ産ヲ最上下ス又西部アイノ邊海古今  
此物多シ春三四月鱧ニ次テノ大漁ナリ他國ノモノニクアラハ  
其味ニ稍ク劣レリ朝鮮ニモ亦此魚多キヨシ彼ノ地方各魚  
字ヲ用ユルヨシ朝鮮スヘテ作字アリ此字モ亦潛作スルナラ



夷中鷹雜ヲ育フ多ク乾吞魚ヲ水ニワケアタフヨレ此物夷  
方最上ノ産物ニ蝦蟇コレナイレリト云

カジカ

即チ杜父魚海魚ナリ尺ニアレル和俗河鹿ト書ケリ  
又杜父魚ハ別魚ナリト云河沿共ニアリ河魚ハ甚  
小ナリ東部トウベツニ此魚分テ多シ夷方リキン  
チエフト云フ俗雜ノ字ヲ用ユ土俗コレヲトウベツ  
カチカト云其鱗ト凡ニ鮮トナシテハ齒サハリヨク風  
味ヨキ魚之此物武加トニテハ何ト号スルヤシ  
ラス祝儀ニ用ユルコトアリ思ニスエタル形獅子ノ



頭ノコトク其體正直ナリ魚中第一ノ棘鬚胤ノ  
 魚ト云ヘト其畧ニ置タルスカタ横タハリ正シカラ  
 ス此魚大ナシモノ一尺四五寸アリ其色赤シテ此  
 色ヲ帯ヒタリ夷ノ方コレヲシマカニ云圖如左



アブラコ

他國ニ云アブラコト非ス藻魚ノ屬シテ其頭小ナリ長サ五  
 大ナルモノニ尺ニアリ夷地海中殊ニ多ク味其美ニ至ナ  
 シ又ナメアブラコト種アリ是即方俗ノ稱吉田恒省云江都  
 ノ俗アイナト云モノ形味此地ノアブラコト同シ今按云同  
 類異物ナルヘシ此種類尤多カルコト



ホワケ

此魚本名未詳形状アワコ魚ニ似タリ春ニ三月鰯魚ニ  
ワキテ海岸ニキタル網ヲ以テコシラトル發物ナリ味アブラコ  
魚ニ稍ク劣レリ津輕ニモ稀ニアリホワキト云ヘリ南部  
仙臺ニハ此魚ナシト云イカ、アランヤニシノ如クコレヲ鮫ニ  
他國ヘオクルを上品ノ魚ニアラス蓋シ此魚ニ限りテ冬春  
ヨリ夏ニ延テ肉肥テ味美ナリニシ。オケ。ス。類ハ初メ  
ニ出ルモノ肉厚ク美味ナリ方俗都テハシリト云ヘリ



シロウヲ

国俗白魚ノ字ヲ用エ倭名鈔ニ文字集畧ヲ引テ鮑魚ニ  
佐ル本草繪殘一魚即チ是ニ東部ヘケシチノ産<sup>江</sup>産  
スルヨシ傳云正徳中<sup>田</sup>田英則ナル人比魚ノ子ヲ埋ムト然ヤ  
否ヤヲ知ス英則<sup>初</sup>初ノ浪士ナリ其孫今猶存セリ

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 田英則 and 浪士.]*



ウグヒ

国俗鯨ノ字ヲ用ヒ或ハ鯨ノ字ヲ用フ東部夷地河海外  
 シエ東部シヨウ沼比魚群ヲナセリ他国ノウグヒヨリ尺寸余リ  
 トシ夷方コレヲシユブニト云益軒翁ノ岐蘇路記ニ信  
 下諏訪辺ニテ此魚ヲ赤魚ト云ヨシ見ヘタリ是方  
 俗ノ赤腹ウグヒト云フ意ナルヘシ

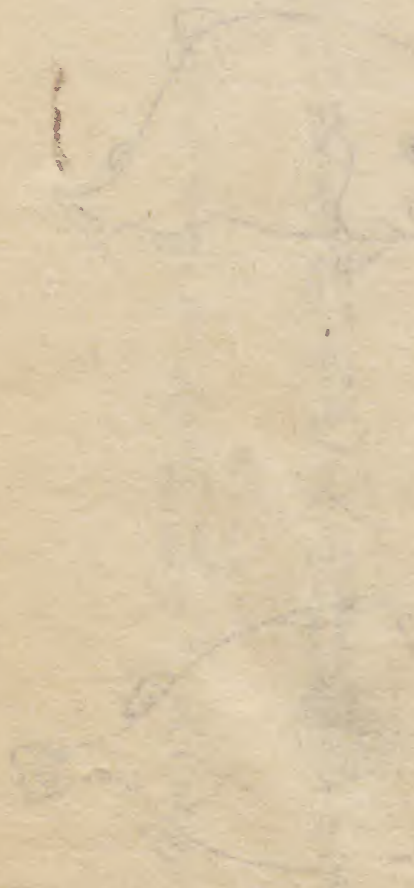
国俗ノ字ヲ用ヒ或ハ鯨ノ字ヲ用フ東部夷地河海外  
 シエ東部シヨウ沼比魚群ヲナセリ他国ノウグヒヨリ  
 トシ夷方コレヲシユブニト云益軒翁ノ岐蘇路記ニ信  
 下諏訪辺ニテ此魚ヲ赤魚ト云ヨシ見ヘタリ是方  
 俗ノ赤腹ウグヒト云フ意ナルヘシ



Handwritten text in cursive Japanese (sōsho) on the right page, consisting of several vertical columns of characters.

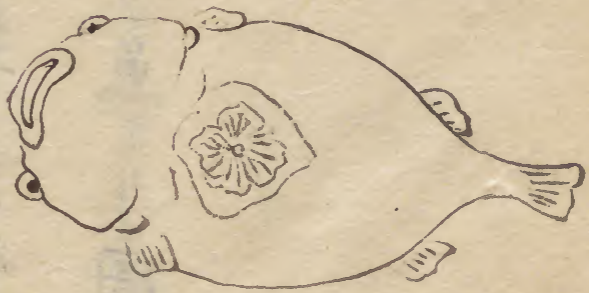
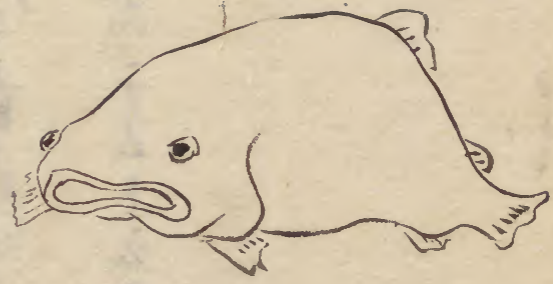
ユツコ

コレ方俗ノ詞ナリ或コレヲ福魚トス練ニサキタナテ出ルカ故  
ナリ或人云武加辺ニテコレヲ一分魚トヨシ如何アラシヤ夷  
方アカムコヲナムト云ヘリ尤下品ノ魚ナリ圖如左





ソイ



方俗ソイト云是夷方ノ詞ニ昂ナ甚深魚ナリ或ハ鯨魚  
 ノ字ヲ用ユ東西夷地海中甚多シ鹽干シテ献上品ニ  
 リコシ海魚中ノ平和ナルモノナリ他國ノ赤魚ト云此方ノ  
 アガツイナリ是れ別魚也又同種類ニナカラソイアリ。ヨメム  
 ソイアリ。セラソイアリ各肉糕トナスヘシ



イカ

即チ鳥賊魚ナリ此物近年ヨリ海人捕リ得テトヲ得タリ  
福山城ノ海洋珠ニ多シ或云此地此物ナシ所在ハ粟魚アリ  
ト未知然<sup>レ</sup>否ト筵家新井白蛾カ説ニ鳥賊腹中ノ黒色  
ナルモノ能ク蛇毒ヲ解スルト極妙ナルヲ云ヘリ醫家  
ニスバアルヘカラス是倭名鈔ニ所謂鳥賊墨ニシテ昂<sup>ク</sup>以  
加乃久呂羨ナリ



カレイ

即チ鯨ナリ方俗平目<sup>ヒラメ</sup>ニ云或比目魚ノ字ヲ用ユ數種アリ  
テウクイト云セノ甚タ大ナリ長コト四五尺ニイタル東部夷地  
ウス。エトモ辺ノ海中ニ多シ大河ニモ入ルナリ其鯨ヲ鹽ニ漬  
ケ食フ夷中コレヲミヤシト云



ウナギ

昂<sup>ナ</sup>鰻<sup>鱺</sup>ナリ或<sup>ハ</sup>鱣<sup>字</sup>ヲモ用<sup>ユ</sup>東<sup>部</sup>内<sup>浦</sup>沼<sup>ニ</sup>アリ本<sup>モ</sup>ニ  
 ニ把<sup>ア</sup>リ他<sup>國</sup>ノモト甚<sup>タ</sup>異<sup>ナ</sup>リ或<sup>ハ</sup>人<sup>云</sup>沼<sup>ヨリ</sup>出<sup>ル</sup>モ其  
 肉<sup>厚</sup>臍<sup>ニ</sup>メ勝<sup>レ</sup>リソ是<sup>亦</sup>未<sup>試</sup>或<sup>云</sup>東<sup>部</sup>オサワ  
 ベト云<sup>ル</sup>所<sup>ニ</sup>川<sup>アリ</sup>スクノツベト号<sup>ス</sup>此<sup>川</sup>大<sup>ウナギ</sup>ヲ  
 産<sup>ス</sup>レ氏<sup>人</sup>夷<sup>共</sup>ニ不<sup>散</sup>食<sup>ヲ</sup>用<sup>テ</sup>醋<sup>鰻</sup>ヲフ<sup>テ</sup>セ<sup>ノ</sup>  
 忽<sup>チ</sup>死<sup>ス</sup>ト又<sup>食</sup>鯉<sup>用</sup>胡<sup>椒</sup>者<sup>亦</sup>即<sup>死</sup>ストオ<sup>ワ</sup>ル<sup>ヘ</sup>キナリ



タイ

即チ棘鬚魚ナリ或云紅魚又クマタイ尾魚ナリ深灰色ノ方  
 俗或ハ朧タイト云フ此魚他國ニクワレレハ甚スクナシ今  
 鯛ノ字ヲ用ユ延喜或ニ出タリ貝原公翁云日本紀赤女  
 ナ載ス即チ赤鯛ナリト寺嶋氏云赤女ハ鯛ニ非スト如  
 何アラシヤ物部茂卿云タイヲ鯛ト書コトハ周防ノ魚  
 ト云フナリ口女ノ種類ハ赤間関ニ居神代卷ニモ云リ  
 トナシ又具貝原公翁云神代卷曰口女鯛也トイカ、アラ

此ノ魚ハ日本紀ニ載ルル所ニテハ赤女ト云フ  
 然レモ延喜式ニテハ赤鯛ト云フ  
 又云クマタイト云フ者ハ尾魚ト云フ  
 此ノ魚ハ深灰色ト云フ者ハ  
 俗名ト云フ者ハ朧タイト云フ  
 今ノ鯛ノ字ハ延喜式ニテハ用ユ  
 然レモ日本紀ニテハ赤女ト云フ  
 此ノ魚ハ周防ノ魚ト云フ者ハ  
 赤間関ニ居ル所ト云フ者ハ  
 神代卷ニモ云ル所ト云フ者ハ



シヤ又平安ノ伊藤氏ノ説ニ朝鮮ニテ此鯛ヲ道養魚  
ト云ヒ或掉尾魚ニ作ルト云ヘリ

スズキ

即チ鱸魚ナリ東部函館海邊ニ多シ其味ヒ他国  
モノニ異ナラス夏秋此魚ワキテ多シ



イハシ

即チ海鰻ナリ鰻ノ字ハ和名鮎ニ漢語抄ヲ引テ和之  
ト訓シタリ或云鰻字和制ナリト然レ延喜式乾鰻  
出タリ東部此魚多ク夷人モ亦コレヲイハシト云土民此  
魚ヲ監藏スルニ菰物ヲ交ヘタルヲヒシヨイハシト云延喜式  
ニ此志古鰻ト出タリフルキ名ノ殘シルナリ

アユ弁ハエ

即チ溪鰻日本紀謂フ細鱗魚コレナリ延喜式三年魚作ル石番  
魚或ハ佐鰻魚或ハハエセト云説モアリ此魚河海間生ス故ニアヒト云  
ヤ鰻魚ノ所ル河ハ必ス此魚アリ東部シリウチ大河アリ故ニ鰻魚甚  
大ナリ其長凡尺有余モアリ凡日本屬國中ノ第一ナルヒニ方俗謂  
鰻魚ノ長短ハ其河ノ石ノ大小ニヨルト愚按スル此理ヲタテ鰻魚ニ七  
限ルヘカラス本藩河海魚屬他國ニモニクアラハ其肉厚シ骨コ  
ハキヲ覺ユナリコレ東北ニ大洋海アリテ其海底浪荒ルキカ故ナルニ



鮎字ヲアト訓セハ源順ノ説ナリ今按漁夫秋夜河瀬ヲ押  
テ鮎魚ヲトテ元フアリ延喜或ニ押年魚ト出名此也別ニ又  
年魚箱鹽年魚ノ二物出名ナリ此魚春生ニ夏長ニ秋衰ニ  
冬自ラ死スニ時銀色変シテ黒皮トナル寒ニ氣堪ハサレシ  
鮎魚又如此故ニ鮎ニモ亦年魚ノ名アリ又鮎ハニアリ鱈鮎ノ  
字ヲモ書ケリ因俗或ハ鮎字ヲモ書ク此小魚大小ノ河  
ニアラサルトヨコナシ

ハリセンボ

コシ異魚ナリ夷地方ニアリ遍身皆鍼アリ津輕辺ニモアリ波地  
ノ方言アチコウヲト云勢及邊ニ出スメ魚ヲハリセンボ  
ニナリト云説アレト非ナラシメ魚河豚ノ類ナリ然レ此物毒  
ト云ヘリ又一説ハリセンボハ河豚ノ類ニシテ魚虎是也ト云  
フ如何アラシヤ

ホ



ボウ

即チ鯨ナリ福山近海ニ出ツ大ナルモノニ尺ニ至ル或云是即チ  
奈與之ナリト未詳東北部ウラマスゴ瀉中鯨多ク上聞ケリ

タコ

即チ章魚ノ東部シヒケノ者云シラカミ海中大章魚アリト  
其大サハカハラス水上ニ近ツクトキハ蒼天コシカ為ニ紅ヒナリト又  
其枝一圍ノモヤリトソ此魚東部シリサワベニ甚多シ  
魚人コレヲ南部ニ送り彼地ニテ吞魚ノ餌トスル云シ夷人  
コレヲアトイン子或ハアワコイバヒ云ヘリ



即于海鰻鯧之東部函館近海多し大なり五尺ニイタ  
 凡大和本草ヲ看しハ此魚類多キモニヤ今固俗作鰻字者  
 ハ目鰻之ハモ又本妙ニヨルトキハ鰻字ヲ用エキカ又アナコア  
 リ月種類ナリ

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)



十カ

東部夷地トカヲホロベツト云へハ河ニタシ。エトモ。ノ辺ノ夷  
人ハ鮭ノ子ナリト云フトフ此小魚佳味ニアラサレヨシ藩士  
工藤長舊語シリ其首上ニ見エタリ



カセ

即海膽方俗アゼト云延喜式ニ甲羸ヲカゼトス倭名  
抄ニ石陰子ヲカゼト云ヒ靈羸子ヲウニトス是其本名  
乎和俗又海栗ノ字ヲ用ユ奥及仙臺ノ人是ヲ子ト云  
フ又但来翁ノ南西田別志ニハウニハ棘羸ナリウニト云  
訓ハ海丹ト云コトナルヘシト云ヘリ海權好<sup>ウラコ</sup>テコレヲ食フ  
其昔見<sup>タリ</sup>干上カゼ形状如左



夷人コレヲ。ニト云<sup>ヒカ</sup>真海丹<sup>ゼ</sup>大海丹<sup>イメア</sup>ノ二種アリ

ラツコ島ニ産スルモノ其徑リ六七寸許アリ



表



裏

大カゼ刺細小ニメシラフミタリ

尤食フニ堪ヘス

夕カノツメ

本名右<sup>石</sup>蛸海岩生ス蛸或<sup>ハ</sup>佐蛸<sup>ハ</sup>交選江賊ニ石蛸應節而揚葩  
是半未詳形状鷹爪ニ似タルノ故ニ方俗シカ云ニ西國辺

ニテカメノテト云或<sup>ハ</sup>シイト云ヨシ大和本草ニ見ヘタリ

郷俗煮テ其肉ヲ食ヘ元佳品ニ非ス其性冷ニ甚タ消化シタ

シ積聚アル人食フヘカラス尤雅賓ノ食品ニアラス草花ニモ

又鷹爪<sup>ツカコ</sup>アリ混スヘカラス貝原公羽ノ説シタツ木ノ如クナルモノ

アリ故ニ此ヲ本部ニ入レタル書モアリ石蛸形状左ノ如シ



Handwritten text in cursive Japanese (sōsho) on the right page, mostly illegible due to fading.



ノ十

即千石榼本其藩海中甚多シ味亦海膽ニ亞ケリ其色黒  
有<sup>レ</sup>里刺入<sup>レ</sup>コ<sup>レ</sup>弱ル<sup>レ</sup>ハ刺即千<sup>ノ</sup>動揺ス醬トナシ<sup>シ</sup>海膽ニ不  
異<sup>方</sup>方コレヲアユツシト云<sup>或</sup>ハク子シトモ云<sup>下</sup>形如丸

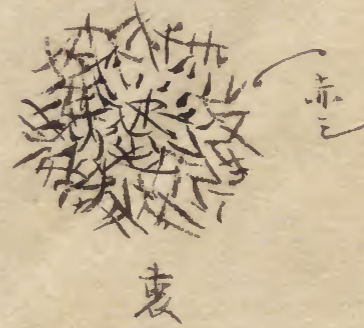


ホタテカイ

即ち帆立貝本名海鏡ナルヘシ東部。ウス。アブ知。エトモ。辺ノ海中ニ多シ肉甚タ耳羨ナリ。房大ナルモノ八九寸蓋アリ。禽獸魚々ノ肉ヲ煮テヨリ其美味ヲ出セリ。他國ニテ帆立貝ト云ハ海扇ニテ車渠ト云フ小物ナリ。國産圖如左。夷方ホタテカイヲアツケテケト云フ



大丸モノ陸リ  
四五寸ニイタル





サノイ

西部オコシリ島ニ此物ヲキテ多シ即チ栄螺ナリ

内白色外黄白ナリ



其大ナルモノ徑一尺許  
蓋ニナリ



カキ

即チ海牡蠣東部アツケシ蠣島アリ水上高キコト五六尺  
バカリニシテ水底ヨリ蠣ノ盛リアカリタルニ蠣房タルモノ  
一尺有余アリ和歌須磨カシト詠セル即是之此物下  
物ヲ盛ルニ甚奇ナリ又朱鏡子ノ硯トシテ太白器明朱ノ  
アサヤカ花風流ノ文房トスルニ足リ藥カモ亦スク  
レタリ夷方コレヲセイト云蓋シコレ東部夷人詞ナリ或  
ハコレヲヒバト云文選江賦ニ石華アリ此物之上云イカ、



アヲシヤ石華菜ハ亦別物出干海草部

*[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]*

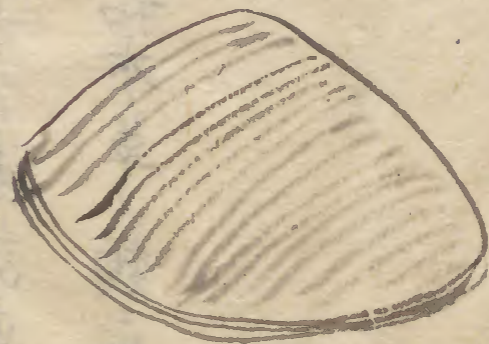
ホツキ

貝ナリ其味ハ蛤ニ劣ラス本名未詳東部ヨリイニ  
多シ和漢三才圖會大和本草ノ類ニ此貝ニ似タリ貝ナ  
圖如左





アサリ



即ち浅瀬ナリ西北部ソウヤノ北ニルモ尋常ノモノヨリ  
大ヒナリ又東部七重濱沙中ニ多シ味ニ甚美ナリ



シビシ

即チ規ナリ夷地北部ソウヤチ名産トス

ハニケリ

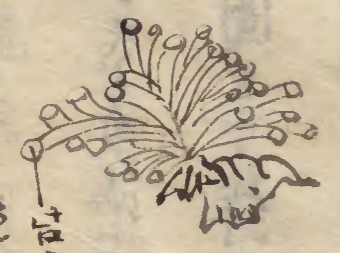
即チ文蛤也東部函館ノ東北亀田海辺砂中多ク其處  
 固ノモノトクラフシハ厚フシテ大ニナリ東部アツク逆ニ類  
 貝アリ別物ナリ或人云此物一國ニ所産必ス一ヶ所ナリト考  
 多クタカスコヤカ僕劫吉ト云モノ語テ曰室曆初年言東部  
 亀田ノ濱ニ蛤ヲ採リテ茅火ニテ焼キ食ルトコロ旅人トオホシキモ  
 二人通リシカ烟草ノ火ヲ請ヒテ生ナル蛤ヲキニテ割リ觀スキヨシナ  
 云ハ其徒與アルコト思ヒ生蛤ノシカモ大ナルヲ指出シ先ニ今大男



手ニトヒトシク左右ノキニテ何ノ苦モナク割開キケルヨシ生ルル蛤  
 ニテモヤスクキニテ割ルキ物ナラス何如ナル術カアリケン其勅吉ハ  
 カ菜色ノモノニテ虚説テスルモノアラサリケルナリ又西部イワシ  
 ニ大サハシクリノ如クシテアサリニ類セル貝アリシハ南部安渡太平洋  
 ニテ云ルナミコ貝ナルニ又北部夷地下韃靼海ノ界ニ大シクアリ  
 ワ又帆音ノ大ナルモノアリト云ヒリ真偽尤ハカリカタシ

イテコ

是ハ海虫ニシテ即チ岩ニ生ス山石虫ト云モノ類ナリ本名未詳  
 是亦醃ナレテ食フ味清美ニシテ老海鼠ニ類ス杖形厄如  
 仙其崖山沼郷辺ノ方言ニホヤスキト云物此ナリイテコ  
 ハ松前ノ方言ナリ



此ヨリ蝸蝓ノコトキ内々  
 老(老)ハ別ニ類ス其ノ色ハ  
 テ岩ニトナラス



ゴメノゴキ

本名海燕方俗ゴメノゴキト云フ海虫ナリ石可食形状紅葉ニ似タリ大和本草中圖アリ詳ナリ

シヤリカニ

コレ土俗ノ方言之本名未レ詳艱ノ種類之平本草集解曰石蟹小谷石間ニ生ス小ニ赤シ石可食疑ラクハ此物ナリ之亦海石ノ蟹アリ同名異物ニ混スヘカラス貝原氏力大和本草凡蟹殼外腹ノ下子ヲ生ス卵ナリ此物ニ亦腹下ニ卵アリ通利ノ刺ス也谷細流キハメテ冷水ノ處ニアリ細長ク凡リ赤艱ニ似タリ其色赭石ノコトシ地上ニ置トキハシリニシサレ故土俗シヤリカト云シヤリハシリノ小兒好テ此物ヲ採ルニ細流ニ臨テ川上ヨリ未嘗テ流スニ此物石



間ヨリ出ルコト妙之長崎(異國ヨリ来ル)カキリト云々不便  
用ノ奇藥ナルヨシ即チ此物ノ頭中ニ丸珠ナリ其形状直珠ト  
キモノナリ但シ秋ニイクルハ珠ナシト云リ明和七年庚寅孟春  
末部オシヤシベヨリ幅七尺ノ蟹ヲ出シタルコト日記見ヘ是ハ  
尋常横行ノ蟹ニテ支也利加佐ト別物ナリ

シユリ

小ナルヲセルコト云フ大ナルヲサカリシユリト云々  
ナラシ本名貽貝本草ニ所謂一名東海夫人即チ此物ノ其  
肉ノ形状女陰ニ異ナラス大ナルモノ長コト六七寸アリ味亦  
美ナリ大和本草中澄菜ニ作ル即チ此物ナリ東方ヨリ  
バシクント云ヘリ

カニイシ

此物<sup>カニイシ</sup>淳石ノ如クニシテ長三寸許其色赤紅小ハアリテ



小蟹出入本名未詳方俗カニイシト云音ヨリ海物之  
 或云文選海賦ニ出ルト未レ考又海中ウヅ子スニアリ  
 方言之形状蜘蛛トクシ類ス人コレ觸レハ紫色汁ヲ出ス  
 獸部見ヘタリ又海中ニ方俗ノ云ヘルレンアリ毒虫眞ニ  
八月種異  
物ニ其形小又イラト号スルモノアリ尖亦海上浮流ル人ヲ刺スコト  
 甚シイラハ吞魚ノ雲脛ニ相似タリ白色ニ毒氣テ  
 レンニ劣レリ又海中龍髯アリヨイニタコレヲ視スニ思フ  
 海柀ノ類ナルヘシ

ホヤ

即チ老海鼠夏月箱トナシ食フヘシ延喜式保夜交  
 箱ト云モノ見ヘタリ此物ヲ云カ海中冷水ノ処ニ多シ蝦夷  
 コレヲタヒト云貝原カ大和本草此物冬アリ夏稀ナ  
 リト云下松前四季共ニアリ夏月暑中ワキテ多シ義味  
 ナ食ル後酢ヲ以テ此物ヲゆシク食フモ胃口ヲ開キ害  
 アルニ非ス然トモ虚寒ノ人ハ用捨アルキ之直海龍カ糸  
 嚙テ此物トスル恐ラクハ非ナラシ海參ニ里白赤ノ三種アリ



リホヤハ形状性味太異ナレ其疣アルコト海參ニ類  
セル故ニ老海鼠ノ稱アリ詳ナルヲハ見ニ上  
此物或  
作海蛤

シタハニ

此物小螺ニメ海中甚多シ倭名鈔ニ小高甌子ニ作ル方俗シタ  
ハニト云小兒婦女好テ其肉ヲ食フ亦貧民ノ飢ヲタス  
クシ日本紀神武卷第三謡曰伽牟加筮能。伊嘉阿能  
于彌能。於弗異之瑛夜異波臂茂等倍屢之多大彌  
能ト云コトアレハ疑ラクハ古言ノ残りタルニヤトイブカシ亦一  
種類ニセ、フクアリ是モ亦方言之他國ニ所謂キサコノ  
如シ殼中ニ小蟹アリシタハニノ空殼ニ出入スル故ニ方俗海



夫ヤトカレヒ云フシタニニ形状如左

表



殼上青苔ヲ生ス  
徑一寸二三分許  
曾ノ如シ尤大少アリ

裏



是蓋ナリ内ニツリク淡ク赤江  
ナリ肉色白線ニ條類引食  
経小高脚子口有白玉蓋即  
是ナリ

ムイ

東部夷地ムイトヨリヨリ東方此貝アリムイトハ  
島ノ名ニ其形箕ニ似タリ夷人故ニ名ク其肉味  
鰻魚ニルイス此所ヨリ東ニ鰻魚ナシ夷人是  
ヲケロト云大和本物ニ片貝ノ條ニ福及府志  
ヲ引テ牛蹄ト云物ヲ記ス此物ノ類ナルヘシ  
形状如左



鳥類魚。鰭。

六角魚。

河豚。

網魚。

鱈魚。

鮫。

泥鰌。小白鰌。

或云土鰌。ウキキ。

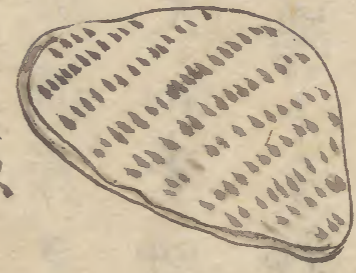
蟹。蟹ノ名之。

スゲノウヲ鰯魚。海豚。

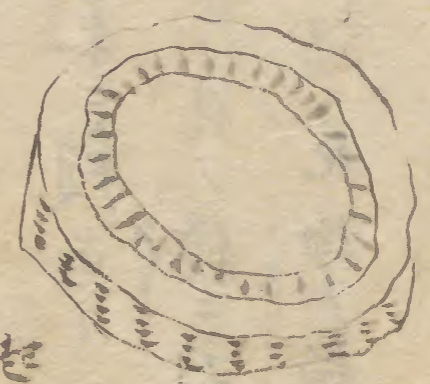
鰻。

鮎。

右之種類共雖為國產者畧之



鰯



鰻







